第51回 日本フィル 夏休みコンサート2025

～プログラム～

第１部

エルガー：《威風堂々》第１番
ハチャトゥリアン：《仮面舞踏会》よりワルツ
アンダーソン：ジャズ・レガート
リムスキー＝コルサコフ：《スペイン奇想曲》よりファンダンゴ

第２部

今年も選べる♪

―― バレエ（7/19～27）――
チャイコフスキー：バレエ《白鳥の湖》（日本フィル夏休みコンサート2025版）

― 金子三勇士のピアノでみゅじっく（8/1～24）―
バルトーク：ミクロコスモスより オスティナート（第6巻146番）
ベートーヴェン：エリーゼのために
リスト：ラ・カンパネラ
ラフマニノフ：ピアノ協奏曲第２番より 第１楽章

第３部

誰にだってお誕生日／うみ／勇気100%

好評発売中！

【料金】全席指定・消費税込

S席	子供 3,800円／大人 5,800円
A席	子供 2,800円／大人 4,800円
B席	子供 2,000円／大人 3,800円

※ 子供＝4歳～高校生
※ 4歳未満は入場できません。
　チケットはお一人一枚ご用意ください。
★演奏時間は休憩を含めて約１時間50分です。

第２部 バレエ

指揮：園田隆一郎／お話とうた：江原陽子
バレエ：スターダンサーズ・バレエ団／バレエ演出・振付：鈴木 稔

7月19日土	14:00	相模女子大学グリーンホール
7月20日日	14:00	松戸森のホール21
7月21日月祝	14:00	府中の森芸術劇場
7月25日金	13:00＆16:30	横浜みなとみらいホール
7月26日土	13:00＆16:30	ソニックシティ（大宮）
7月27日日	13:00＆16:30	サントリーホール

＼♪特設ページ／

第２部 ピアノ

指揮：大井剛史／お話とうた：江原陽子／ピアノ：金子三勇士

8月1日金	13:00＆16:30	サントリーホール
8月2日土	13:00＆16:30	横浜みなとみらいホール
8月4日月	13:00＆16:30	東京オペラシティコンサートホール
8月24日日	14:00	ウェスタ川越大ホール

【お申し込み】日本フィル・サービスセンター
☎ 03-5378-5911（平日10時～17時）　eチケット♪ https://eticket.japanphil.or.jp

---

人、音楽、自然――日本フィルのテーマです。
JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA
― 創立指揮者 渡邉曉雄 ―

日本フィル横浜定期50周年 横浜カルチュラルワンダーランド

日本フィルハーモニー交響楽団
JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA

第407回

横浜定期演奏会

407th YOKOHAMA Subscription Concert

2025年5月31日(土)午後5時開演
横浜みなとみらいホール
5:00pm May 31st (Sat.), 2025, at Yokohama Minato Mirai Hall

主催：公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団
後援：神奈川新聞社、tvk（テレビ神奈川）
協力：横浜みなとみらいホール
助成：文化庁文化芸術振興費補助金（舞台芸術等総合支援事業（公演創造活動））
　　　独立行政法人日本芸術文化振興会

文化庁

横浜定期演奏会 2025/2026シーズンラインアップ

2025年9月より開演時間が変わります

横浜定期演奏会は 2025/2026シーズンより
15:00開演（14:10開場）といたします。

©Ayane Sato

©Yuji Ueno

第410回

2025年9月20日（土）

指揮：カーチュン・ウォン
［首席指揮者］

ピアノ：髙木竜馬

伊福部 昭：
SF交響ファンタジー第１番
ラヴェル：ピアノ協奏曲
ドヴォルジャーク：交響曲第９番《新世界より》

©Shin Yamagishi

© 井村重人

第411回

2025年10月25日（土）

指揮：藤岡幸夫

トロンボーン：伊藤雄太
［首席奏者］

吉松隆：アトム・ハーツ・クラブ組曲 第1番
吉松隆：トロンボーン協奏曲《オリオン・マシーン》
［日本フィルシリーズ第34作］
シベリウス：交響曲第１番

©ai ueda

©Ariga Terasawa

第412回

2025年11月22日（土）

指揮：太田 弦

ピアノ：牛田智大

ショパン：ピアノ協奏曲第２番
チャイコフスキー：交響曲第５番

©hiro.pberg berlin

第413回

2025年12月13日（土）

指揮：出口大地

ソプラノ：砂田愛梨　**メゾソプラノ：山下裕賀**

テノール：石井基幾　**バリトン：高橋宏典**

合唱：東京音楽大学

ウェーバー：歌劇《オベロン》序曲
ベートーヴェン：交響曲第９番《合唱》

第414回

2026年1月24日（土）

指揮・ヴァイオリン：
ヴィルフリート・和樹・ヘーデンボルク

ベートーヴェン：《献堂式》序曲
モーツァルト：ヴァイオリン協奏曲第３番
ヨーゼフ・シュトラウス：我が人生は愛と喜び
J. シュトラウスII世：
アンネン・ポルカ、ポルカ・シュネル《浮き立つ心》
ワルツ《ウィーン気質》
ポルカ《帝都はひとつ、ウィーンはひとつ》
ワルツ《芸術家の生活》

©山本倫子

©井村重人

第415回

2026年3月21日（土）

指揮：小林研一郎
［桂冠名誉指揮者］

クラリネット：伊藤寛隆
［首席奏者］

モーツァルト：クラリネット協奏曲
ベートーヴェン：交響曲第３番《英雄》

プレ70周年 定期会員券（全6回）

新規会員募集中！

S席 ¥34,200　A席 ¥29,100　B席 ¥25,200　C席 ¥21,300
P席 ¥16,200［（第413回を除く）全５回］　Ys席 ¥10,800

ハンガリーの巨匠タカーチ=ナジと ロン・ティボー・クレスパン国際コンクール優勝の三浦謙司が初登場！

指揮のガボール・タカーチ=ナジは、拠点の一つであるヴェルビエ祝祭室内管弦楽団と共に名門レコード会社ドイツ・グラモフォンにベートーヴェンの交響曲全集を録音したり、同地での音楽祭においてアルゲリッチやマイスキーといった著名演奏家と共演を重ね、あつい信頼を集めているまさに「名匠」です。今回は彼が得意とする古典派、初期ロマン派の作品と、自身のルーツであるハンガリーの作曲家コダーイが書いた絢爛豪華な管弦楽作品《ハーリ・ヤーノシュ》をお贈りいたします。モーツァルトの協奏曲には、ヨーロッパを中心に活躍する才能あふれる三浦謙司を迎えます。

Programs

シューベルト：
交響曲第７番《未完成》ロ短調 D759（約25分）
Franz SCHUBERT: Symphony No.7 "Unfinished" in B-minor, D759

モーツァルト：
ピアノ協奏曲第21番 ハ長調 K.467（約29分）
Wolfgang Amadeus MOZART: Concerto for Piano and Orchestra No.21 in C-major, K.467

――― 休憩（15分）　Intermission ―――

コダーイ：
組曲《ハーリ・ヤーノシュ》op.15（約26分）
Zoltán KODÁLY: Suite"Háry János" op.15
ツィンバロン：斉藤 浩
ヴィオラ独奏：安達真理［客演首席奏者］

●

指揮：**ガボール・タカーチ=ナジ**　Conductor: Gábor TAKÁCS-NAGY

ピアノ：**三浦謙司**　Piano: MIURA Kenji

コンサートマスター：**扇谷泰朋**［日本フィル・ソロ・コンサートマスター］
Concertmaster: OGITANI Yasutomo, JPO Solo Concertmaster

©Miguel Bueno

指揮：ガボール・タカーチ＝ナジ

ガーボル・タカーチ＝ナジはブダペスト出身で、現代ハンガリー音楽を代表する存在の一人とされる音楽家。1982年にリスト賞、2017年にはベーラ・バルトーク＝ディッタ・パシュトリー賞を受賞。2021年3月、ハンガリー文化に貢献した芸術家に贈られる功労芸術家賞（Érdemes Muvész）を受賞し、同年12月には、卓越した業績と模範的な人間性に対して贈られるプリマ・プリミッシマ賞に輝いた。さらに、2024年3月には文化・芸術分野での功績が称えられ、コスート賞を受賞している。

1975年から1992年まで、高く評価されているタカーチ弦楽四重奏団の創設メンバーでありリーダーとして活動。1996年にはタカーチ・ピアノトリオを結成し、1998年にはミクローシュ・ペレーニ、ゾルタン・トゥスカ、サンドル・パップとともにミクロコスモス・カルテットを設立した。2003年からは指揮者としての活動を開始し、2007年にはヴェルビエ音楽祭室内管弦楽団の音楽監督に就任。2011年9年、英国の名門室内オーケストラであるマンチェスター・カメラータの音楽監督、2012年9月からはブダペスト祝祭管弦楽団の首席客演指揮者を務めている。2024年6月にはセントポール室内管弦楽団のアーティスティック・パートナーとなり、さらに活動を拡大。2012年6月にはロンドン王立音楽アカデミーの名誉会員資格を授与されている。

2023年6月、ドイツ・グラモフォンからヴェルビエ音楽祭室内管弦楽団によるベートーヴェン交響曲全9曲のライブ録音がリリースされた。

← YouTube チャンネル
【2分でわかる大人のためのオーケストラ入門 Plus+】
X、Instagram では2分バージョン配信中！

この演奏会では、目の不自由なお客様のために点字プログラムをご用意しております。
ご要望の方は主催受付までお申し出ください。

●お客様へのお願い●
演奏中はお手持ちの時計のアラーム、または携帯電話などの電源はお切りください。手荷物、傘、チラシ類などの物音、話し声や体の動きなどで他のお客様のご迷惑にならないようご配慮をお願い申し上げます。尚、録音、録画、演奏中の写真撮影は固くお断りしております。

©Harald Hoffmann

ピアノ：三浦謙司

1993年神戸市生まれ。4歳よりピアノを始め、13歳で英国政府奨学金を獲得し単独渡英、ロンドン・パーセル・スクールにて学ぶ。その後、ベルリン芸術大学にてクラウス・ヘルヴィヒ氏に師事し、研鑽を積む。

2012年夏にベルリン芸術大学を中退し、音楽家としての道を一度離れ、工場での仕事やボランティア活動に打ち込む。しかし、友人の死をきっかけに、音楽こそが自分にとっての唯一無二の存在であることを確信。働きながら受験準備を重ね、ベルリンハンス・アイスラー音楽大学に入学、音楽への情熱を再び燃やす。

2019年アルゲリッチを審査員長に迎えたロン・ティボー国際コンクールにて優勝及び3つの特別賞を獲得し、その才能を世界に認められる。

人生の岐路で選択した音楽への道、名門音楽院で培った技術と多様な音楽体験は、三浦の音楽に深みを与え、緻密かつ洗練された演奏、そして情感豊かな表現力は聴衆を魅了し続けている。ウィグモアホール、ベルリン・コンツェルトハウスなど、世界の一流の舞台で演奏を重ね、高い音楽性を世界に示している。2022年11月、ワーナークラシックス・ジャパンより新アルバム『アイデンティティ』をリリース。

ツィンバロン：斉藤 浩

アジア人で初めてツィンバロン・ソリストディプロマを授与された打弦楽器奏者。ハンガリー国立リスト音楽院を経て、スロバキア国立バンスカービストリツァ芸術アカデミーツィンバロン科に編入。2006年、同校首席卒業。2004年、バラッシャジャルマト国際コンクール第1位。帰国後は、日本各地のオーケストラ、来日オーケストラともたびたび共演している。2025年は、NHK大河ドラマ『べらぼう』のオープニングテーマ曲、および劇中音楽に起用されている。

日本フィル企画制作部
監修：小宮正安

シューベルト：交響曲第７番《未完成》ロ短調 D759

フランツ・シューベルト（1797-1828）の作品には、未完成のものが非常に多い。古今の多くの音楽家もそうした「未完の傑作」を残しているが、シューベルトの場合その事情は多少なりとも異なる。つまり、音楽家がある作品を未完成のまま残す際には、（少なくともシューベルト以前の時代には）作曲の依頼先が無くなるか、あるいは依頼内容が変更されて曲を作る必然性が消滅する、さらには当の音楽家の死によって中断されるという場合がほとんどだった。

だがシューベルトの場合、むしろ作品を完成直前に放置してしまうケースが多く、しかもその理由が明確ではない。「未完成」の呼称で知られるこの２楽章から成る交響曲も、完成されることなく作曲家によって忘れられたもののひとつ。儚いまでの美しさや、それとは対照的な黒々とした世界を彷彿させる響き、均整のとれた形式ゆえに、今日では未完ながらも捨てがたい傑作として親しまれている。

なお完成された２つの楽章の後には、第３楽章としてメヌエット楽章の主部112小節、トリオ部16小節分のスケッチが残されている（うち開始部20小節分はオーケストレーションも済んでいる）。このスケッチを見ると、元々シューベルトはこの曲を完成させるつもりがあったものの、途中でやめてしまったことが明かだ。なお当作品を書いていた1822年当時のシューベルトだが、持病の梅毒が悪化し、不安と恐怖を抱きつつ入院をしたところ、症状が一時的に和らぎ無事退院を果たした。そうした事情が、この交響曲が未完に終わった原因とも考えられる。

第１楽章：アレグロ・モデラート（ほどほどに勢いをもって）：ほの暗い神秘性やどす黒い不安に満ちた第１主題、切ないまでの憧れに満ちた第２主題がそれぞれ絡まり合うソナタ形式の楽章。

第２楽章：アンダンテ・コン・モート（動きを持ちつつ歩みを保って）：天国的な安らぎに満ちた第１主題、哀切な祈りが溢れる第２主題が現れ、最後は浄化された世界へと至る。

楽器編成 フルート２、オーボエ２、クラリネット２、ファゴット２、ホルン２、トランペット２、トロンボーン２、バス・トロンボーン１、ティンパニ１、弦楽５部。

モーツァルト：ピアノ協奏曲第21番 ハ長調 K.467

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト（1756-91）は、35歳という若さで生涯を閉じるまで、膨大な数の作品を世に送り出した。その内容も様々な楽器や音楽形式にわたり、非常に高い水準に達していることは驚異的で、彼が“天才”の名をほしいままにしているゆえんである。

ピアノ協奏曲は、モーツァルトがもっとも力を入れて作曲した分野で、全部で27曲が残されている。生前はピアニストとしても鳴らした彼が、ピアノの腕前と作曲の才能を演奏会という公の場で披露するにあたり、オーケストラを従えたピアノ協奏曲が最も効果的だったというのがその理由。じっさい天性のオペラ作曲家でもあったモーツァルトは、ピアノ協奏曲においても、豊かに歌われる楽想とドラマティックな起伏に富んだ表現を発揮し、真の天才にしか形成できない幾つもの美しい小宇宙を創り上げた。

1785年3月に初演されたピアノ協奏曲第21番は、優雅でさわやかな明朗さが全編にあふれている。直前の2月に初演された第20番がモーツァルト初の短調の協奏曲で、暗さや激情に包まれていることと比較すると、この二面性こそがほかの作曲家にないモーツァルトの深い魅力である。この２曲が、表面的な印象こそ異なるものの同じ血が流れている「二卵性双生児」にたとえられるゆえんであり、モーツァルトの創作力が絶頂へと登り詰める時期に書かれたピアノ協奏曲の傑作となっている。

第１楽章：アレグロ（勢いをもって）
軽やかな行進曲を思わせるオーケストラに導かれ、ピアノがすがすがしく美しい音の世界を描き出す。

第２楽章：アンダンテ（歩みを保って）
弱音器をつけた弦楽器三連符に乗って歌いだされる旋律の美しさは、古今のクラシックの名曲の中でも極めつけの１つ。1967年のスウェーデン映画『みじかくも美しく燃え』で使用され、きわめて有名になった楽章である。

第３楽章：アレグロ・ヴィヴァーチェ・アッサイ（勢いをもって　充分快速で）
生き生きとしたリズムに乗って、オーケストラとピアノが幸福に満ちた会話を交わす。モーツァルトの天真爛漫さが発揮された華やかなクライマックスで、曲は閉じられる。

楽器編成 独奏ピアノ、フルート１、オーボエ２、ファゴット２、ホルン２、トランペット２、ティンパニ１、弦楽５部。

コダーイ：組曲《ハーリ・ヤーノシュ》op.15

ハンガリーの作曲家ゾルターン・コダーイ（1882-1967）（ハンガリーでは日本と同じく姓名の順、コダーイ・ゾルターンとなるが、このプログラムでは同じハンガリー出身の国際的指揮者の呼び方に揃え、名・姓の順に記載する）。彼は、同じくハンガリー出身のベーラ・バルトーク（1881-1945）とともに、ハンガリーの地域に根付いた多くの民謡を採集し、自らの作品にもその要素を反映させた。自国の音楽教育の実態にも疑問を持ち、同僚らと開発したコダーイ・メソッドは、ユネスコ無形文化遺産にも認定されている。

「ハーリ・ヤーノシュ」というのは、民話風の詩に登場するほら吹きの老兵士のこと。それを題材にコダーイが音楽を担当し、歌芝居（ジングシュピール）形式のオペラとして1926年にブダペスト王立歌劇場で上演された。さらにこのオペラを広く知らしめるべく、コダーイ自身によって６曲の管弦楽用組曲が編まれ、ハンガリーを代表する管弦楽作品となった。日本フィルにとっても、楽団の名誉指揮者であるハンガリー出身の故・エルヴィン・ルカーチ（1928-2011）と演奏を重ねるなど、長い歴史がある作品だ。

Ⅰ：前奏曲…ハンガリーでは聞き手がくしゃみをしたらその話は本当だ、という言い伝えがあり、冒頭はくしゃみの描写ではじまる。

Ⅱ：ウィーンの音楽時計…木管とカリヨンが時計（ぜんまい仕掛けの機械）を描写する、楽し気な音楽。

Ⅲ：歌…ヤーノシュと恋人が歌う民謡を題材にした愛の二重唱をヴィオラが独奏で演奏すると、ハンガリーの民族楽器ツィンバロンが登場。民族色が色濃く反映される。

Ⅳ：戦争とナポレオンの敗北…管・打楽器だけで演奏され、多種多様な冗談が散りばめられている。

Ⅴ：間奏曲…再びツィンバロンと共にハンガリー特有のリズムを持った主題や舞曲が奏でられる。

Ⅵ：皇帝と廷臣の入場…ユーモラスな行進曲、トランペットの間の抜けたような副主題、そしてファンファーレから絢爛豪華にオーケストラが鳴り響く。

楽器編成 フルート３（ピッコロ持替３）、オーボエ２、クラリネット２（Es管クラリネット持替１）、アルト・サクソフォン１、ファゴット２、ホルン４、コルネット３、トランペット３、トロンボーン２、バス・トロンボーン１、テューバ１、ティンパニ１、ピアノ１、チェレスタ１、ツィンバロン１、大太鼓、小太鼓、シンバル、トライアングル、タムタム、カリヨン、鐘、タンブリン、シロフォン、弦楽５部。

Column
歴史でひもとく！ ～クラシックこぼれ話 by 小宮正安

ハーリ・ヤーノシュの真実

曲目解説にも書いたが、ホラもホラ、まさに大ボラ満載の作品こそが、『ハーリ・ヤーノシュ』だ。

何しろコダーイがオペラ（やがて管弦楽組曲）の基とした『ハーリ・ヤーノシュ』の素材自体が、しばしば「ハンガリーの民話に基づく」などと解説されるが、違う。実のところ、19世紀に活躍したハンガリーの詩人ヤーノシュ・ガーライ（1812-53）が1843年に作った物語風の詩に登場する人物の１人こそが、ハーリ・ヤーノシュ。つまり、いかにも昔から伝わる民話に描かれた主人公のように見せかけておいて、実は作者の分身ともいえる存在なのだ。

何しろハーリ・ヤーノシュの語るホラ話自体に、ちょうど件の詩が書かれた時代の史実が見事反映されている。つまり、ヤーノシュがオーストリアの軍隊に加わっていた時に、かのナポレオン・ボナパルト（1769-1821）を打ち負かしたであるとか、時のオーストリア皇帝フランツ１世（1768-1835）に謁見した等々。まただからこそ、ハーリ・ヤーノシュのホラ話が、どこまでが本当でどこまでが嘘なのか、徐々に判然としなくなる。

それではなぜ、このように手の込んだ「ホラ」が生まれたのか？ ハーリ・ヤーノシュにまつわる詩が書かれたころ、ハンガリーはオーストリアをお膝元とする名門貴族ハプスブルク家の支配する巨大帝国の一部だった。しかもドイツ系民族が中心のオーストリアとは異なって、ハンガリーではアジア系のマジャール人が大多数を占めていた。つまりハンガリーの人間にとってみれば、自分たちがオーストリアに支配されていること自体が面白くない。さりとて武装蜂起しようとすれば、鎮圧されることは火を見るよりも明らかだ。

…となればよく分かる。「くしゃみ」を描写し、ふざけたように始まる第１曲目が、やがて葬送行進曲風の悲痛な響きを伴って聴き手を圧倒する理由が。あるいは第２曲目に登場するオーストリアの都ウィーンの音楽時計の旋律や響きが何とも安っぽく、オーストリアに対する強烈な風刺となっていることが。かと思えば、そのオーストリアに攻撃をしかけ、一時はハンガリーを解放してくれるのではないかという期待を抱かせたナポレオンが単なる侵略者であったことが露呈した後、彼が戦に敗れる様子を扱った第４曲には、フランス国歌『ラ・マルセイエーズ』の情けないパロディまで現れる。

楽しいだけではない、辛辣な皮肉を込めたジョーク。それこそが、オリジナルの詩、そしてそれを基に作られたコダーイを通じたハーリ・ヤーノシュの真実に他ならない。

『ハーリ・ヤーノシュ』の原作者ヤーノシュ・ガーライの肖像画とサイン 1853年

Next YOKOHAMA

第408回 横浜定期演奏会

2025年6月14日（土）17:00
横浜みなとみらいホール

© 山本倫子
小林研一郎

千葉清加

指揮：**小林研一郎**［桂冠名誉指揮者］
ヴァイオリン：**千葉清加**［アシスタント・コンサートマスター］

モーツァルト：**ヴァイオリン協奏曲第３番 ト長調 K.216**
マーラー：**交響曲第１番《巨人》二長調**

S席 ¥9,000　A席 ¥7,500　B席 ¥6,500　C席 ¥5,500　P席 ¥5,000　Ys席 ¥2,000
※ Ys：25歳以下の方が対象のお席です。S席以外から選べます。

第771回 東京定期演奏会

2025年6月6日（金）19:00
2025年6月7日（土）14:00
サントリーホール

ガボール・タカーチ＝ナジ

ミクローシュ・ペレーニ

指揮：**ガボール・タカーチ＝ナジ**　チェロ：**ミクローシュ・ペレーニ**

ドヴォルジャーク：**チェロ協奏曲**　ブラームス：**ハイドンの主題による変奏曲**
モーツァルト：**交響曲第41番《ジュピター》**

土曜は残席僅少

S席 ¥8,500　A席 ¥7,000　B席 ¥6,000　C席 完売　P席 ¥4,500　Ys席 ¥2,000

今日のコンサートの聴きどころは？

多彩な活動を展開する期待の若手
布施砂丘彦さんの解説をお楽しみください。

16時20分より 大ホール内にて♪

布施 砂丘彦（ふせ さくひこ）
東京芸術大学卒業。コントラバスおよびヴィオローネ奏者、批評家、音楽プロデューサー。2020年9月に時評「音楽の態度」で第7回柴田南雄音楽評論賞奨励賞を受賞して批評家デビュー。朝日新聞の連載「for your Collection クラシック音楽」をはじめとして、雑誌やウェブメディアなどさまざまな媒体に寄稿。2023年から「箕面おんがく批評塾」（箕面市メイプル文化財団主催）塾長。

■定年のお知らせ

第1ヴァイオリンの平井幸子が 2025年4月15日に定年を迎えました。平井は1987年1月に入団し、ヴァイオリン・セクションで活躍してまいりました。定年後も引き続き嘱託の奏者として演奏いたします。今後もご期待ください。

■放送予定

2025 年 4 月 26 日、27 日に上演したオペラ《仮面舞踏会》が放送されます。

NHK-FM『オペラ・ファンタスティカ』

放送日：6月20日（金） 14:00～18:00

らじる☆らじる での同時配信・聴き逃し配信 1 週間を行います。

※変更・中止の場合は HP 等でお知らせいたします。

■2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）シグネチャーイベント出演決定

落合陽一×日本フィルプロジェクト VOL.9

東京公演《null² する音楽会》 2025年8月21日㈭ 19:00 サントリーホール

万博公演《null² する音楽会 supported by ローム ミュージック ファンデーション》
2025年8月30日㈯ 15:00 大阪・関西万博 EXPO ホール「シャインハット」

■テレビ番組レギュラー出演のお知らせ

日本フィルが BS に。指揮者が語るミニ番組！『Welcome クラシック』BS朝日
毎週水曜日 22:54～23:00（第 3 週、第 4 週は再放送）。ぜひご覧ください！

■本日の公演は終演時のカーテンコールでの写真撮影が可能です

携帯電話・スマートフォン付属のカメラで着席のまま撮影をお願いいたします。
フラッシュ、動画撮影はお控えください。詳しくは会場の掲示をご覧ください。

◆定期会員券ご寄付のお願い◆

お客様のご都合により、定期演奏会にご来場いただけなくなった時は、是非日本フィルにチケットをご寄付ください。有効に活用させていただきます。

【ご寄付の方法】

ご寄付いただける会員券の公演日・座席数・座席番号を日本フィル・サービスセンターにお電話かFAX、メールにてご連絡の上、会員券をご郵送ください。主催会場でも受け付けます。

●公演1週間前のご寄付に関しては、会員券のご郵送は不要です。●会員券のご郵送代はお客様にてご負担いただきます様ご協力をお願いいいたします。●ご寄付いただいた定期会員のお客様には、ご寄付いただきました公演月のプログラム冊子を後日ご郵送いたします。また、翌月または翌々月のプログラムにご芳名を掲載させていただきますので、掲載をご希望されないお客様はご連絡をお願いいたします。

日本フィル・サービスセンター
〒166-0011
東京都杉並区梅里1-6-1
TEL：03-5378-5911（平日10時～17時）
FAX：03-5378-6161（24時間）
e-mail：order-ticket@japanphil.or.jp

横浜定期演奏会の定期会員券をお譲りいただきました。
心より御礼申し上げます。

4月の寄付者　木下盛弘、匿名４名

敬称略・五十音順

横浜定期会員の特典

横浜ベイホテル東急（横浜みなとみらいホール向かい）にて、メンバーズ優待を行っております。

飲食：下記店舗で、飲食料金が **10%OFF** となります。（4名様まで）※除外日および対象外メニューあり

オールデイダイニング**「カフェ トスカ」**／ラウンジ**「ソマーハウス」**／中国料理**「スーツァンレストラン陳」**

※会計時に横浜定期会員券をご呈示ください。※この割引は日本フィルのコンサート開催日以外にも有効です。
※指定以外の店舗、および宴会は対象外ですのでご了承ください。※他の特典・割引との併用はいたしかねます。

公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団（1956年6月創立）

●創立指揮者／渡邉曉雄
●桂冠名誉指揮者／小林研一郎
●名誉指揮者／ルカーチ・エルヴィン
●名誉指揮者／ジェームズ・ロッホラン
●客員首席指揮者／ネーメ・ヤルヴィ
●首席指揮者／カーチュン・ウォン
●桂冠指揮者兼芸術顧問／アレクサンドル・ラザレフ
●フレンド・オブ・JPO（芸術顧問）／広上淳一

公式X（元Twitter）
@Japanphil

公式アカウント

ソロ・コンサートマスター
扇谷泰朋
木野雅之
田野倉雅秋

アシスタント・コンサートマスター
千葉清加

第1ヴァイオリン
伊藤太郎
太田麻衣
九鬼明子
齋藤政和
榊　　渚
竹歳夏鈴
谷﨑大起
田村昭博
中谷郁子
西村優子
平井幸子
本田純一

第2ヴァイオリン
遠藤直子
大貫聖子
岡田紗弓
加藤祐一
神尾あずさ
川口　貴
佐藤駿一郎
末廣紗弓
豊田早織
町田　匡
松川葉月
山田千秋

ヴィオラ
☆安達真理
江藤史織
小俣由佳
小中澤基道
児仁井かおり
髙橋智史
中川裕美子
中溝とも子
松澤稚奈

ソロ・チェロ
門脇大樹
菊地知也

チェロ
石崎美雨
伊堂寺　聡
江原　望
大澤哲弥
久保公人
篠原和仁
山田智樹

コントラバス
鈴村優介
成澤美紀
宮坂典幸
森田麻友美
山口雅之

フルート
◎真鍋恵子
齋藤光晴
難波　薫

オーボエ
◎杉原由希子
○松岡裕雅
佐竹真登

クラリネット
◎伊藤寛隆
○楠木　慶
照沼夢輝
堂面宏起

ファゴット
◎田吉佑久子
○鈴木一志
中川日出鷹

ホルン
☆丸山　勉
◎信末碩才
伊藤　舜
原川翔太郎
村中美菜

ソロ・トランペット
オッタビアーノ・クリストーフォリ

トランペット
◎大西敏幸
○犬飼伸紀
中里州宏
中務朋子
星野　究

トロンボーン
◎伊藤雄太
○笠間勇登
□福島莉那

バス・トロンボーン
中根幹太

テューバ
柳生和大

ティンパニ
◎エリック・パケラ
○池田健太

パーカッション
大河原　渉
□本間雄也

ハープ
松井久子

楽団長
星野　究

チーフステージマネージャー
阿部紋子

ステージスタッフ
長橋健太
森田大翔

チーフインスペクター
佐藤駿一郎

インスペクター
鈴村優介
谷﨑大起

ライブラリアン
鬼頭さやか
坂庭吏映
杉本哲也

（2025年5月1日現在）

◎首席奏者　☆客演首席奏者
○副首席奏者　□試用期間

理事長（代表理事）
平井俊邦

副理事長(代表理事)
五味康昌

専務理事(代表理事)
福井英次

常務理事(代表理事)
後藤朋俊

理事
石井啓一郎
石塚邦雄
佐々木経世
田村浩章
戸所邦弘
中根幹太
葉田順治
福本ともみ

監事
上條貞夫
福澤宏哉

評議員会会長
加藤丈夫

評議員
青井　浩
安孫子　正
荒蒔康一郎
石村　等
稲垣　尚
内川清雄
大塚宣夫
海堀周造
梶浦卓一
河北博文
喜多崇介
木村惠司
久保田　隆
小林研一郎
島田精一
津田義久
西澤　豊
野間省伸
福満一夫
村上典吏子
山口多賀幸

名誉顧問
熊谷直彦
島田晴雄
田邊　稔

マネジメント・スタッフ
淺見浩司
磯部一史
江原陽子
及川ひろか
小川紗智子
荻島里帆
賀澤美和
柏熊由紀子
小須田萌
佐々木文雄
澤田智夫
篠崎めぐみ
杉山綾子
杉山まどか
高橋勇人
田中正彦
槌谷祐子
中村沙緒里
西田大輔
西田真菜
長谷川珠子
樋高雄太
藤田千明
古舘順一
別府一樹
益滿行裕
宗澤晶子
山岸淳子
吉岡浩子

シニア・パートナー
新井康允
伊波　睦
永島義郎
南部洋一
吉江信博

団友
青柳哲夫
青山　均
赤堀泰江
新井豊治
石井啓一郎
伊藤恒男
伊波　睦
宇田紀夫
遠藤　功
遠藤剛史
大石　修
大川内　弘
筧　美知子
金本順子
蒲谷隆行
川口和宏
菊田秋一
岸良開城
吉川利幸
木村正伸
小林俊夫
小山　清
斎藤千種
佐々木裕司
佐藤玲子
菅原　光
髙木裕子
髙木雄司
髙木　洋
高倉理実
髙山智仁
田沢　烈
立川和男
堂阪俊子
富樫尚代
豊田尚生
中川二朗
永田健一
中務幸彦
奈切敏郎
橋本　洋
畑井紀代子
平賀法子
福島喜裕
松本克巳
松本伸二
三本克郎
宮武良平
三好明子
森　　茂
山下進三
山科淑子
渡辺哲雄

編集発行■公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団　■〒 166-0011 東京都杉並区梅里 1-6-1　■ Tel.03-5378-6311